



「反射材」が寄贈されました

10月27日(水)、青森県トラック協会下北支部から、反射材120個が寄贈されました。

下北支部の奥島事務局長と理事である細川建設株式会社の細川社長が内山教育長にストラップ型の反射材を手渡されました。

この反射材は、村内の小中学生および保育所に配布され、子どもたちの安全を守ります。



いこいの場ぽぼらす ハロウィーン会

10月28日(木)、いこいの場ぽぼらすで「ハロウィーン会」が行われました。

新型コロナウイルス感染症の影響でお休みしていましたが、およそ1年ぶりに再開されました。

参加者はラジオ体操で体をほぐした後、さまざまなゲームをして楽しみました。

佐井小学校 アピオス収穫体験

11月5日(金)、佐井小学校5年生が原田地区のアピオス畑で収穫体験を行いました。

子どもたちはスコップや手で土を掘り起こしたり、根っこを引っ張ったりと、講師の園山さんに教わりながらたくさん収穫していました。

次回は来年の2月頃、寒ざらししたアピオスのツル切り体験の後、いよいよ1年かけて育ててきたアピオスの試食を行う予定です。



はまなす子ども会 子どもねぶた運行

11月7日(日)、矢越地区のはまなす子ども会が子どもねぶたの運行を行いました。

例年行われていた子どもねぶたの合同運行は中止になりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いてきたことを受け、村の住民提案型事業補助金を活用し、「子どもたちが制作した新しいねぶたをなんとか運行したい」、「地区住民のみなさんにぜひお披露目したい」との思いから、この運行が実現しました。

子どもたちは一生懸命練習した笛や太鼓を響かせながら地区内を巡り、お囃子を聞きつけ沿道に集まってきた住民のみなさんは、楽しそうに拍手を送っていました。

